

東日本大震災等における被災状況・営業状況調査結果報告書

(沿岸地区生活衛生同業組合員対象)

平成 30 年 11 月末現在実施

目 次

I	調査の概要	1
1	調査の目的	1
2	調査の概要	1
II	調査結果	2
1	沿岸地区組合員の現時点（平成 30 年 11 月 30 日現在）の営業状況	2
2	沿岸地区組合員及び組合別・地域別の営業状況等	2~6
3	現在の要望・課題等	7~13
	参考資料（調査票・調査依頼先資料）	

平成 31 年 2 月

公益財団法人岩手県生活衛生営業指導センター

I 調査の概要

1 調査の目的

平成 23 年 3 月 11 日の東日本大震災の発生から、まもなく 8 年を迎えますが、この未曾有の大災害は、被災地域の住民生活及び被災組合員の営業状況に大きな影響を及ぼしている。

この調査は、沿岸地区生活衛生同業組合員の 7 年 8 ヶ月を経過しようとする現在の営業状況を明らかにし、復旧・復興状況の実態把握を行い、どのような要望、課題等があり、その声を今後の支援策検討の参考とすることを目的とする。

2 調査の概要

(1) 調査の実施者

公益財団法人岩手県生活衛生営業指導センター（以下「岩手県指導センター」という。）

(2) 調査の実施時期

この調査は、平成 30 年 11 月 30 日現在で、調査を実施した。

(3) 調査の対象

各生活衛生同業組合の沿岸地区支部及び本部所属沿岸地区組合員

(4) 調査の方法

この調査は、岩手県指導センターから各生活衛生同業組合を通じ、調査対象に調査票を配布し、記入する方法により実施した。

(5) 調査の内容

調査対象である生活衛生同業組合に所属する組合員について、支部ごとに以下の調査項目について調査した。（調査票：参考資料）

- ① 被災組合員の現時点の営業状況について
- ② 現在の声・要望・課題等について

(6) 調査の結果利用上の注意事項

- ① この調査は、生活衛生同業組合の各支部を対象に、生活衛生同業組合が把握している平成 30 年 11 月 30 日現在の沿岸地区組合員の状況を調査したものである。
- ② したがって、生活衛生同業組合員の被災した全ての組合員を調査対象としたものではないことに注意を要する。

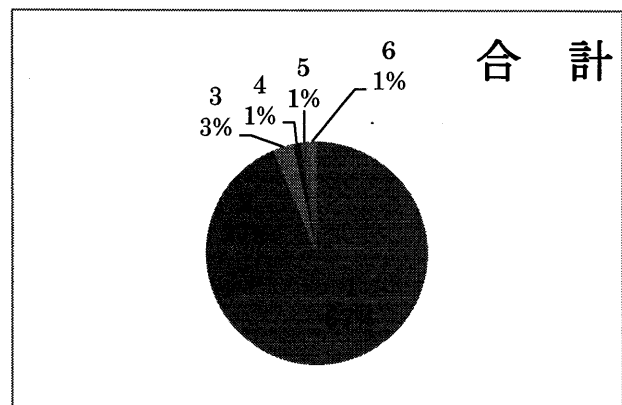
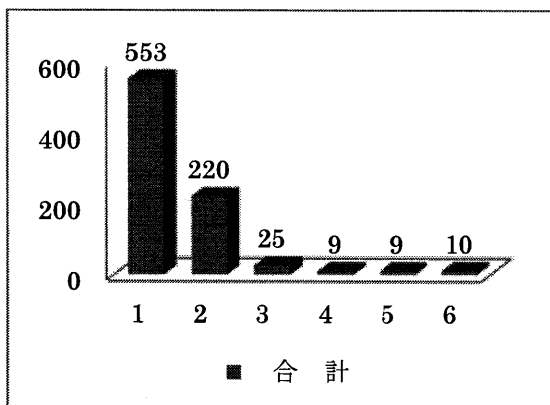
参考：これまでの調査の経過

- 第一回調査（平成 24 年 2 月）・・・全国指導センターからの委託調査：対象地区：岩手県全域
- 第二回調査（平成 24 年 12 月）・・・岩手県からの委託調査：対象地区：沿岸地域
- 第三回調査（平成 25 年 11 月）・・・岩手県からの委託調査：対象地区：沿岸地域
- 第四回調査（平成 26 年 11 月）・・・復興支援事業（全国指導センターからの委託）対象地区：沿岸地域
- 第五回調査（平成 27 年 11 月）・・・復興支援事業（全国指導センターからの委託）対象地区：沿岸地域
- 第六回調査（平成 28 年 11 月）・・・復興支援事業（岩手県からの補助事業）対象地区：沿岸地域
- 第七回調査（平成 29 年 11 月）・・・復興支援事業（岩手県からの補助事業）対象地区：沿岸地域
- 第八回調査（平成 30 年 11 月）・・・復興支援事業（岩手県からの補助事業）対象地区：沿岸地域

II 調査結果（沿岸地区生活衛生同業組合員対象）

1 沿岸地区組合員の現時点（平成 30 年 11 月 30 日現在）の営業状況

	1 現地で営業 （被災して修 繕等も含む）	2被災した が、本設して 営業	3仮設店舗で 営業	4休業中 （営業再開の意 思あり）	5廃業 （今後の見込 みも含む）	6その他 （訪問営業など も含む）	調査対象 組合員数
すし業	9	1	0	0	0	0	10
中華料理	25	35	0	0	1	1	62
社交飲食	2	12	0	0	0	0	14
料理業	1	4	0	0	0	0	5
飲食業	73	79	10	4	3	4	173
食肉	15	5	2	0	0	0	22
理容	153	51	6	1	0	1	212
美容業	177	31	6	0	4	0	218
興行	0	0	0	0	0	0	0
旅館ホテル	88	0	1	4	1	0	94
公衆浴場	0	0	0	0	0	0	0
クリーニング	10	2	0	0	0	4	16
合 計	553	220	25	9	9	10	826
割 合	66.9%	26.6%	3.0%	1.1%	1.1%	1.2%	100.0%



2 沿岸地区組合員及び組合別・地域別の営業状況（平成 30 年 11 月 30 日現在）

(1) 沿岸地区組合員の営業状況

沿岸地区組合員の平成 30 年 11 月末現在の営業状況は、「現地で営業（被災して修繕等も含む）」が 553 人（全体の 66.9%）、「被災したが、本設して営業」が 220 人（全体の 26.6%）、「仮設店舗で営業」が 25 人（全体の 3.0%）、「休業中（再開の意思あり）」が 9 人（全体の 1.1%）、「廃業（今後の見込みも含む）」が 9 人（全体の 1.1%）、「その他（訪問営業なども含む）」が 10 人（全体の 1.2%）。

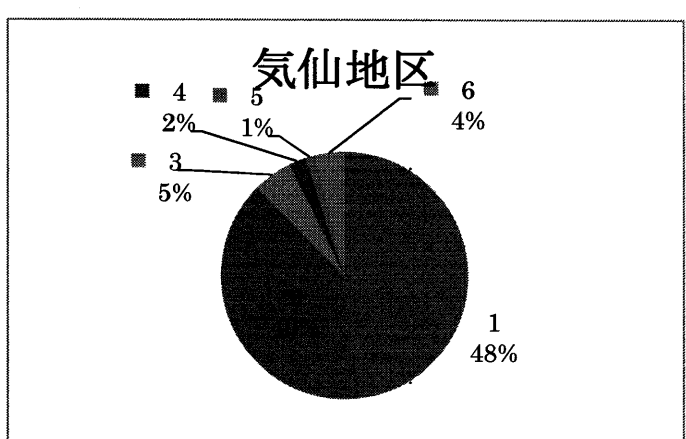
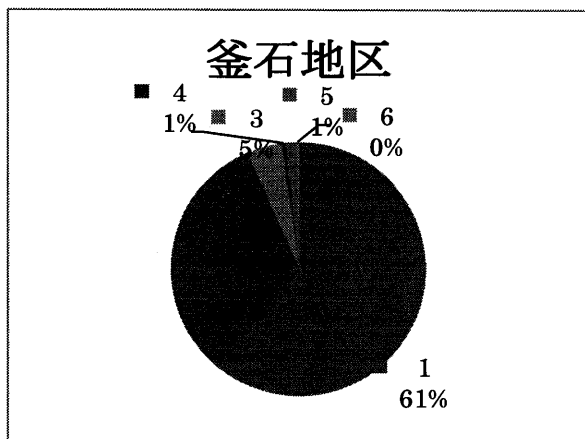
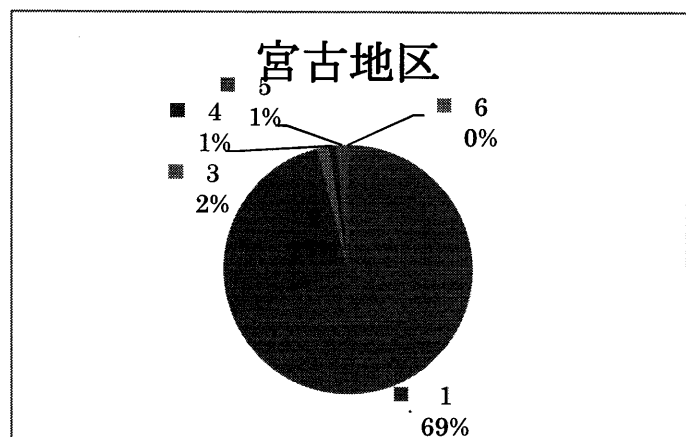
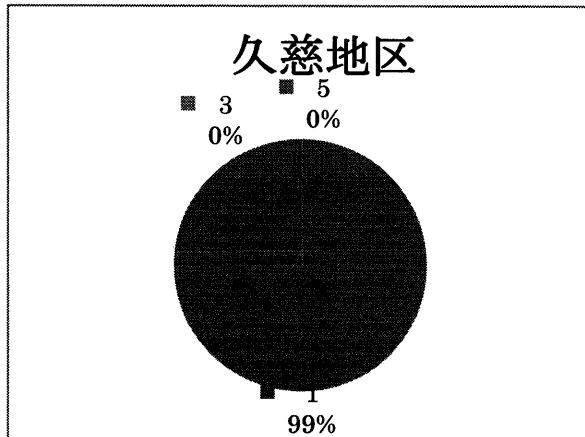
未だに、44 店舗（全体の 5.3%）が本設再開できていない状況となっている。

(2) 組合別の営業状況

組合別の、「仮設店舗で営業」、「休業中（再開の意思あり）」の営業状況では、『飲食業組合』が 14 店舗、『理容組合』が 7 店舗、『美容業組合』が 6 店舗、『旅館ホテル組合』が 5 店舗、『食肉組合』が 2 店舗となっている。

(3) 地域別の営業状況

	1 現地で営業 (被災して修繕 等も含む)	2被災した が、本設して 営業	3仮設店舗で 営業	4休業中 (営業再開の意 思あり)	5廃業 (今後の見込 みも含む)	6その他 (訪問営業な ども含む)	調査対象 組合員数
久慈地区	165	1	0	1	0	0	167
宮古地区	140	55	3	2	3	0	203
釜石地区	136	72	10	1	3	1	223
気仙地区	112	92	12	5	3	9	233
合 計	553	220	25	9	9	10	826



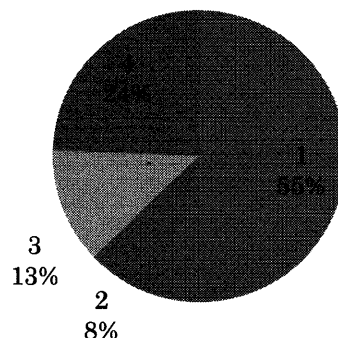
地域別の、「仮設店舗で営業」の営業状況では、次のとおり。

- 「久慈地区」は**仮設営業なし**
- 「宮古地区」は**仮設営業 3 人**（飲食 2、理容 1）
- 「釜石地区」は**仮設営業 10 人**（飲食 1、食肉 1、理容 1、**美容 6**、旅館 1）
- 「気仙地区」は**仮設営業 12 人**（**飲食 7**、食肉 1、**理容 4**）

(4) 「仮設店舗で営業」等の方の今後の意向等

	1 本設予定	2 仮設撤去時 廃業検討	3 このまま 営業	4 どうしてい いかわから ない	合 計
すし業	0	0	0	0	0
中華料理	0	0	0	0	0
社交飲食	0	0	0	0	0
料理業	0	0	0	0	0
飲食業	10	0	0	0	10
食肉	2	0	0	0	2
理容	6	0	0	0	6
美容業	6	0	0	0	6
興行	0	0	0	0	0
旅館ホテル	0	0	1	0	1
公衆浴場	0	0	0	0	0
クリーニング	0	0	0	0	0
合 計	24	0	1	0	25
割 合	96.0%	0.0%	4.0%	0.0%	100.0%

仮設店舗者の
今後の意向等

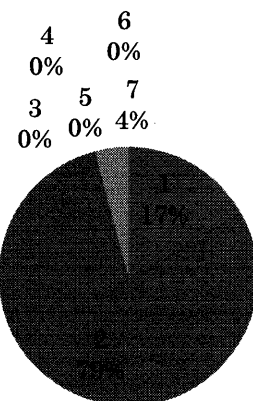


○現在、「仮設店舗で営業」の25店中、**96.0%が「本設予定」と回答。**「現状の状態で営業を継続したい」が1店となっている。

(5) 「本設予定者」の展開予定時期等

	1 平成 30 年度	2 平成 31 年度	3 平成 32 年度	4 平成 33 年度	5 平成 34 年度	6 平成 35 年度	7 時期 未定	合 計
すし業	0	0	0	0	0	0	0	0
中華料理	0	0	0	0	0	0	0	0
社交飲食	0	0	0	0	0	0	0	0
料理業	0	0	0	0	0	0	0	0
飲食業	0	10	0	0	0	0	0	10
食肉	1	1	0	0	0	0	0	2
理容	1	4	0	0	0	0	1	6
美容業	2	4	0	0	0	0	0	6
興行	0	0	0	0	0	0	0	0
旅館ホテル	0	0	0	0	0	0	0	0
公衆浴場	0	0	0	0	0	0	0	0
クリーニング	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	4	19	0	0	0	0	1	24
割 合	16.7%	79.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	4.1%	100.0%

本設予定者の
展開予定時期等



○「本設予定者」24店のうち、**平成31年度までに本設が23(95.9%)。**「時期未定」は1店となっている。

現在、「仮設店舗で営業」等の方の市町村別一覧表

2019.2.15 現在

	市町村名	仮設店舗で営業	休業中 (営業再開意思あり)	計
1	久慈市		1 旅館 1	1 (0)
2	野田村			0 (1)
3	岩泉町		2 旅館 2	2 (3)
4	宮古市		1 美容 1	1 (6)
5	山田町	3 飲食 2、理容 1		3 (14)
6	大槌町	8 飲食 1、食肉 1、理容 1、美容 4、旅館 1		8 (8)
7	釜石市	2 美容 2	1 飲食 1	3 (24)
8	大船渡市	1 理容 1		1 (10)
9	陸前高田市	9 飲食 5、食肉 1、理容 3	1 旅館 1	10 (25)
	計	23 (71)	6 (15)	29 (86)

※ () は、平成 29 年 11 月 30 日調査時点の数値

東日本大震災における復興支援事業の取組みと今後の方向性

1 被災状況と食事等支援

平成 23 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災の被災状況は、岩手県全体で死者・行方不明者 6,257 人(関連死含み)、建物倒壊数 25,713 棟(平成 31 年 2 月 1 日現在)。

うち岩手県生活衛生同業組合員店舗では、死者・行方不明者 46 人、建物(店舗)倒壊数 774 棟で、被災当時の全組合店舗の約 2 割が倒壊した。

沿岸部事業者の多くが被災したため、内陸部の各地区生活衛生同業組合連絡協議会が中心となり、平成 23 年 4 月 7 日から県内の避難所が解消された同年 8 月下旬までの間、避難所や幼稚園・小中高校に対して、岩手県の要請により災害救助法に基づく**食事 60 万食を提供**した。

また、厚生労働省や全国指導センターの支援のもと、福興応援団「**暮らし再建・なりわい再生プロジェクト**」を立ち上げ、飲食系組合の炊き出し支援や、興行組合の映画上映会、社交飲食業組合のカラオケバス事業、理容・美容組合の頭・肩・腕のマッサージ提供等の被災地及び被災事業者復興支援に取り組むとともに、被災地での後継者育成支援事業(小学校、中学校、高校での出前授業)も実施してきた。

なお、平成 30 年 11 月末現在の沿岸地区組合員は 826 人。そのうち「現地で営業(修繕等含む)」が 553 人(66.9%)、「本設して営業」が 220 人(26.6%)、**「仮設店舗で営業」が 25 人(3.0%)**、**「休業中(再開の意思あり)」が 9 人(1.1%)**、「廃業(見込みも含む)」が 9 人(1.1%)、**「その他(訪問営業など含む)」が 10 人(1.2%)**となっている。

2 現状・課題

- (1) 沿岸部組合員店舗のうち、**44 店舗**が本設再開に至っていない状況
- (2) 本設予定者の約 96%が**平成 31 年度までに本設**の意向
- (3) 復興工事減少、顧客・売上減少による**経営面の不安が顕在化**。

特に、旅館ホテル、飲食店での経営の先行き不安、従業員のレベルアップ、SNS、IT を活用した情報発信などの要望がある。

3 今後の方向性

東日本大震災から 8 年が経過し、ようやく約 95%の被災組合員が本設再開となった。

しかし、本設再開したものの、沿岸各地域において復興工事の減少や人口流出などによる顧客減少等、**経営面での不安が顕在化**している。

今後は、なりわいの再生に向けて、営業再開した**店舗に関する情報発信**のほか、経営の安定化に向けた**相談・支援体制の確保**が求められる。

このことから、生活衛生同業組合地区連絡協議会を中心とした、他業種連携による営業**振興面での対策が必要**である。

震災後の炊出し支援等の経験を活かし、生衛業の振興と被災地のコミュニティの推進にも貢献してまいりたい。

【 組合別：現在の要望・課題等 】

1 すし業生活衛生同業組合

① 宮古・山田・釜石・大船渡地区組合員（支部なし）

- ・人口減少が激しいが、**新規顧客の確保に向けての対応**が必要となる。
- ・チラシ配布等、**店舗所在地のPR**に積極的に取り組んでいきたいので、支援をお願いする。

2 中華料理生活衛生同業組合

① 宮古支部

- ・工事関係者が減少により**顧客が減少、人口も減少し不安**。

② 山田支部

- ・店舗は本設再開し落ち着いてきたが、客の分散で、暇な日と忙しい日の差が出てきている。**繁閑の解消が課題**である。

③ 釜石支部

- ・復興工事が終わり人口減少になり、**お客が減少、売上が減少し困っている**。
- ・顧客減少の対策として、いいものを美味しく安く提供しているが利益が出ない。

3 社交飲食業生活衛生同業組合

① 釜石支部

- ・本設再開した店舗情報を掲載したガイドマップを作成し、市内ホテル、公共施設に配架し周知に努めている。
- ・お客様の動向を把握し、営業時間や休憩時間を調整しながら、ニーズにあった営業スタイルを確立している（日曜営業、昼は定食、夜は和服のスナックなど）

4 料理業生活衛生同業組合

① 宮古支部（被災後、現地で営業継続）

- ・津波の被害を受けた部分の設備を工事中だが、震災後に設定された補助制度での補助対象と営業を再開するために必要なお役所が求める基準に差があるので、その部分は、自己資金となる。もう少し弾力的に対応いただきたい。

② 大槌支部（本設して営業中）

- ・震災の影響だけではないだろうが、**人手不足と売上減少のため厳しい経営状況**。

③ 大船渡支部

- ・大船渡駅前商店街の小売商店、飲食店、ホテルも新しくでき、賑やかになりお客様の往来もあり、町が活気づいている。
- ・**利用客の減少と人手不足**に悩んでいる。
- ・店舗が高台にあることから、特別メニュー等で誘客に努めたい。
- ・大過なく営業中。**顧客減少が気がかり**。

5 飲食業生活衛生同業組合

① 久慈支部

- ・復興道路完成後の**顧客減少に不安**。

② 宮古支部

- ・売上の減少。
- ・復興工事が2～3年後に終了した時の**対応策を指導**してほしい。

③ 山田支部

- ・人口減少で将来が不安
- ・工事関係者が撤退した後の**来客減少に備えた営業指導**をお願いしたい。

④ 釜石支部

- ・復興工事が終わり、街中も活気がなくなってきた。
- ・人口減少、来客減少に**売上げが減少、経営継続が不安**である。
- ・本設再開した後の経営が軌道にのるよう**経営指導**いただきたい。

⑤ 大船渡支部

- ・復興工事が終わった後に**工事関係者が撤退した後の営業が不安**。
- ・人手不足、資金繰りが大変、**経営継続に不安**。
- ・情報発信にお金をかけられないので、**店舗紹介等、継続した情報発信**をお願いしたい。

⑥ 盛支部

- ・復興工事が終わり、**工事作業員がいなくなった時、どうなるか不安**。
- ・高齢化、**人口減少で顧客減少、売上が減少**。

⑦ 陸前高田支部

- ・人口が減少し続け、10年後営業できるか不安。
- ・本設することを決断したが、**資金面で不安**がある。
- ・中心市街地に本設したが、**人手不足が深刻**。
- ・10月1日より市から払い下げを受けた。建物が大きいので、税が高額と予想される。減税、延期などの対策はないものか。

6 食肉生活衛生同業組合

特になし

7 理容生活衛生同業組合

① 宮古支部

- ・田老・鉾ヶ崎地区で本設再開した店舗では、地域の人口減少が激しく、高齢化も進み、客数の増加、売上げ増が厳しい。
- ・これからは、訪問理容や、講習会に積極的に参加して、新しいメニューの習得や、**キャッシュレス、インバウンド、SNS などにも取り組んでいきたいので、機会を設定してほしい。**

② 釜石支部

- ・仮設店舗でのプレハブの屋根が傷み雨漏りなどの問題があるが、平成 31 年には本設移転予定なので、頑張っていく。

③ 気仙支部

- ・場所（店舗）も変わり、客数が減少し売上減少が一番の課題。
- ・復興工事あと 1 年位で終わり、工事関係者がいなくなった後が不安。
- ・高齢者への送迎など取り組みが大切。

8 美容業生活衛生同業組合

① 釜石支部

- ・市町村の土地の引き渡しが遅れている現状があり、本設再開が予定より遅れている。
- ・仮設店舗での入居期限があり、本設ではなく、また仮設移転した。

② 大船渡支部

- ・人口減少や店舗立地等の課題もあるが、現状を受け入れ前向きに営業を進めていくことが大切。

9 興行生活衛生同業組合

- ・なし

10 旅館ホテル生活衛生同業組合

① 釜石支部

- ・行政から応急仮設建築物の延長期限の通知。今後どうなるかと毎日不安である。

② 陸前高田支部

- ・工事関係者（復興）の宿泊者が減少傾向にある。

11 クリーニング生活衛生同業組合

気仙支部

- ・仮設店舗（共同工場）で営業している組合員 2 名は陸前高田市民であるため、陸前高田市で店舗を本設意向。しかし、新市街地の復興状況が途中であるため、**店舗の本設の目途がたたない。**

《東日本大震災における被災状況・営業状況調査：（岩手県全域対象・・・平成 24 年 2 月 1 日現在）》

	1 現地で再開 (店舗が元々 あった場所)	2 仮設店舗で再 開(中小企業基 盤整備機構等)	3 その他の 場所で再開 (別の場所)	4 休業中 (営業再開 意思あり)	5 廃業	6 被災後 速やかに 営業継続	7 不明	調査対象 組合員数
すし業	8	1	2	1	0	95	0	107
中華料理	26	6	4	4	13	131	0	184
社交事業	17	0	0	0	3	180	0	200
料理業	8	0	1	2	0	25	0	36
飲食業	58	20	28	16	24	278	41	465
食肉	7	1	1	2	2	59	0	72
理容	69	13	44	43	21	1035	0	1225
美容業	69	16	14	42	20	969	3	1133
興行	14	0	0	0	0	13	0	27
旅館ホテル	61	0	0	21	18	228	0	328
公衆浴場業	2	0	0	1	4	18	0	25
クリーニング	2	0	3	1	7	89	0	102
合 計	341	57	97	133	112	3120	44	3904
割 合	8.7%	1.5%	2.5%	3.4%	2.9%	79.9%	1.1%	100.0%

※本資料は平成 24 年 2 月 1 日現在で調査し、財団法人全国生活営業指導センターに報告したものです。

《東日本大震災における被災状況・営業状況調査：（沿岸地域対象・・・平成 24 年 12 月 31 日現在）》

	1 現地で再開 (店舗が元々 あった場所)	2 仮設店舗で再 開(中小企業基 盤整備機構等)	3 その他の 場所で再開 (別の場所)	4 休業中 (営業再開 意思あり)	5 廃業	6 被災後 速やかに 営業継続	7 不明	調査対象 組合員数
すし業	8	1	1	1	0	4	0	15
中華料理	20	14	11	2	0	8	0	55
社交事業	0	1	0	0	2	0	0	3
料理業	1	0	2	0	0	0	2	5
飲食業	36	45	34	16	2	46	0	179
食肉	5	1	4	0	2	10	0	22
理容	46	21	40	13	0	147	0	267
美容業	33	25	21	16	37	175	3	310
興行	0	0	0	0	0	1	0	1
旅館ホテル	31	0	0	13	2	34	4	84
公衆浴場業	2	0	0	1	4	3	0	10
クリーニング	1	4	0	0	0	15	0	20
合 計	183	112	113	62	49	443	9	971
割 合	18.8%	11.5%	11.6%	6.4%	5.0%	45.6%	0.9%	100.0%

※本資料は平成 24 年 12 月 31 日現在で調査し、岩手県に報告したものです。

《東日本大震災における被災状況・営業状況調査：（沿岸地域対象・・・平成 25 年 11 月 30 日現在）》

	1 現地で再開 （店舗が元々 あった場所）	2 仮設店舗で再 開（中小企業基 盤整備機構等）	3 その他の 場所で再開 （別の場所）	4 休業中 （営業再開 意思あり）	5 廃業	6 被災後 速やかに 営業継続	7 不明	調査対象 組合員数
すし業	8	1	1	0	1	4	0	15
中華料理	20	13	14	2	2	8	0	59
社交飲食業	0	16	0	0	0	0	0	16
料理業	0	0	4	0	0	0	3	4
飲食業	19	49	36	4	2	40	0	153
食肉	4	2	2	1	0	12	0	21
理容	42	25	29	9	8	144	0	257
美容業	34	23	19	8	47	176	0	307
興行	0	0	0	0	0	1	0	1
旅館ホテル	25	0	5	8	4	41	0	83
公衆浴場業	0	0	0	1	5	0	0	6
クリーニング	2	3	0	0	3	12	0	20
合 計	154	132	110	33	72	438	3	942
割 合	16.3%	14.0%	11.7%	3.5%	7.6%	46.5%	0.3%	100.0%

※本資料は平成 25 年 11 月 30 日現在で調査し、岩手県に報告したものです。

《東日本大震災における被災状況・営業状況調査：（沿岸地域対象・・・平成 26 年 11 月 30 日現在）》

	1 現地で再開 （店舗が元々 あった場所）	2 仮設店舗で再 開（中小企業基 盤整備機構等）	3 その他の場 所で再開（別 の場所）	4 休 業 中 （ 営 業 再 開 意 思 あ り ）	5 廃業	6 被 災 後 速 や か に 営 業 継 続	7 不明	調査対象 組合員数
すし業	8	1	1	0	0	4	0	14
中華料理	24	12	12	2	0	9	0	59
社交飲食業	0	16	0	0	0	0	0	16
料理業	0	0	4	0	0	0	0	4
飲食業	23	48	41	4	0	40	4	160
食肉	4	2	3	1	0	12	0	22
理容	36	18	20	7	0	165	0	246
美容業	36	31	15	5	0	160	0	247
興行	0	0	0	0	0	1	0	1
旅館ホテル	26	0	5	9	0	43	0	83
公衆浴場業	0	0	0	1	0	0	0	1
クリーニング	2	3	0	0	0	12	0	17
合 計	159	131	101	29	0	446	4	870
割 合	18.3%	15.1%	11.6%	3.3%	0.0%	51.3%	0.5%	100.0%

※本資料は平成 26 年 11 月 30 日現在で調査し、岩手県に報告したものです。

≪東日本大震災における被災状況・営業状況調査：（沿岸地域対象・・・平成 27 年 11 月 30 日現在）≫

	1 現地で再開 （店舗が元々 あった場所）	2 仮設店舗で再 開（中小企業基 盤整備機構等）	3 その他の場 所で再開（別 の場所）	4 休業中 （営業再開 意思あり）	5 廃業、 退会	6 被災後 速やかに 営業継続	7 本設 再開	調査対象 組合員数
すし業	4	1	0	0	4	4	1	14
中華料理	34	10	5	0	4	6	4	63
社交飲食業	0	17	0	0	0	0	0	17
料理業	1	0	3	0	0	0	1	5
飲食業	46	44	21	2	3	35	22	173
食肉	4	1	1	1	3	13	1	24
理容	40	22	13	6	7	150	8	246
美容業	34	19	6	5	13	155	17	249
興行	0	0	0	0	0	1	0	1
旅館ホテル	22	0	0	9	0	46	13	90
公衆浴場業	0	0	0	1	0	0	0	1
クリーニング	2	3	0	0	0	12	0	17
合 計	187	117	49	24	34	422	67	900
割 合	20.8%	13.0%	5.4%	2.7%	3.8%	46.9%	7.4%	100.0%

※本資料は平成 27 年 11 月 30 日現在で調査し、岩手県に報告したものです。

≪東日本大震災における被災状況・営業状況調査：（沿岸地域対象・・・平成 28 年 11 月 30 日現在）≫

	1 現地で営業 （被災して修繕 等も含む）	2 被災した が、本設して 営業	3 仮設店舗で 営業	4 休業中 （営業再開意 思あり）	5 廃業 （今後の見込みも 含む）	6 その他 （訪問営業 なども含む）	調査対象 組合員数
すし業	8	1	1	0	0	0	10
中華料理	42	3	10	2	0	1	58
社交飲食業	0	0	16	0	1	0	17
料理業	1	3	0	1	0	0	5
飲食業	75	27	52	3	1	15	173
食肉	16	3	3	0	0	0	22
理容	179	32	24	3	3	3	244
美容業	201	3	22	4	1	1	232
興行	0	0	0	0	0	1	1
旅館ホテル	82	0	0	12	2	0	96
公衆浴場業	0	0	0	0	0	1	1
クリーニング	15	0	4	1	0	0	20
合 計	619	72	132	26	8	22	879
割 合	70.4%	8.2%	15.0%	3.0%	0.9%	2.5%	100.0%

※本資料は平成 28 年 11 月 30 日現在で調査し、岩手県に報告したものです。

《東日本大震災における被災状況・営業状況調査：（沿岸地域対象・・・平成 29 年 11 月 30 日現在）》

	1 現地で営業 （被災して修 繕等も含む）	2被災した が、本設して 営業	3仮設店舗で 営業	4休業中 （営業再開の意 思あり）	5廃業 （今後の見込 みも含む）	6その他 （訪問営業など も含む）	調査対象 組合員数
すし業	9	0	1	0	0	0	10
中華料理	49	8	3	0	0	2	62
社交飲食	0	7	8	1	1	0	17
料理業	1	4	0	0	0	0	5
飲食業	71	59	22	9	5	7	173
食肉	15	5	2	0	0	0	22
理容	161	43	18	0	2	2	226
美容業	178	27	14	2	1	0	222
興行	0	0	0	0	0	0	0
旅館ホテル	82	0	0	3	5	0	90
公衆浴場	0	0	0	0	0	0	0
クリーニング	10	1	3	0	2	2	18
合 計	576	154	71	15	16	13	845
割 合	68.2%	18.2%	8.4%	1.8%	1.9%	1.5%	100.0%

※本資料は平成 29 年 11 月 30 日現在で調査し、岩手県に報告したものです。

東日本大震災等における被災状況・営業状況調査票

(公財)岩手県生活衛生営業指導センター

【調査票記入のお願い】

1 調査票は支部ごとに作成することとし、下線部及び枠内に回答を記入して下さい。

2 それぞれの件数は、現在組合・支部として把握している範囲で結構です。

〔調査票記入に関するお問い合わせ先〕

(公財)岩手県生活衛生営業指導センター担当：中居・佐々木

TEL：019-624-6642（9：00～16：30）

【基本項目：組合名、支部名、組合員数等について】

組合名：生活衛生同業組合

支部名：支部（管轄市町村：）

支部組合員数：名（平成 30 年 11 月 30 日時点の組合員数）

調査票記入担当者：（連絡先電話番号：）

1. 被災事業者の現時点の営業状況について

(1) 貴支部において組合員の現時点（平成 30 年 11 月 30 日現在）の店舗の営業状況についてご回答ください。

1	2	3	4	5	6	7
現地で営業 (被災して修繕 等も含む)	被災したが、本設 して営業	仮設店舗で 営業	休業中 (営業再開の 意思あり)	廃業 (今後の見 込みも含む)	その他 (訪問営業 などを含む)	
店舗	店舗	店舗	店舗	店舗	店舗	店舗

※廃業欄には、平成 29 年 12 月以降の廃業数を記載してください。

(2) 「3 仮設店舗で営業」「4 休業中」の方の、今後の意向等に○を付してください。

1	2	3	4	5	6	7
本設店舗での再 開を予定	仮設店舗撤去時 は 廃業を検討	現在の状態で 営業を継続し たい	どうしてい か判らない			
店舗	店舗	店舗	店舗	店舗	店舗	店舗

(3) 「1 本設店舗での再開を予定」の方の、本設予定時期等に○を付してください。

1	2	3	4	5	6	7
平成 30 年度 (2018 年度)	平成 31 年度 (2019 年度)	平成 32 年度 (2020 年度)	平成 33 年度 (2021 年度)	平成 34 年度 (2022 年度)	平成 35 年度 (2023 年度)	時期未定
店舗	店舗	店舗	店舗	店舗	店舗	店舗

2. 現在の課題等について

貴支部の組合員の方が、営業の再開や、営業をしていくうえで支障となっていること等について聞き取りの上記載願います。

1 現地再開、本設移転店舗等の課題

（営業していくうえで支障となっていることや、それに対する取り組み等、具体的に記載してください）

2 仮設店舗での営業、休業中店舗の課題

ご協力ありがとうございました。

※ 1の「**現地で営業**」について

被災したものの、修繕等を行い、店舗があった場所で営業再開した方

※ 2の「**本設して営業**」について

被災後に、本設再開した数を記載してください。

（当初、プレハブや借家で再開し、その後、その状態での営業を本設とする方も含めます）

※ 3の「**仮設店舗で営業**」について

店舗の形状にかかわらず、仮設営業の数を記載してください。

※ 4の「**休業中**」について

営業再開(継続)しておらず、廃業を決めていない方（営業再開の意思はあるが再開できない方等）

※ 5の「**廃業**」について

平成 29 年 12 月以降に廃業した数を記載してください。

※ 6「**その他**」について

上記以外の状態の場合

東日本大震災等における被災状況・営業状況調査集計作業表

組合名 _____ 県 _____ 組合

支部名 _____ 支部

組合員名	市町村名	設問1:被災営業者の営業状況について							設問2:仮設店舗で営業の方の意向等							設問3:本設展開の予定時期等								
		1	2	2	4	5	6		1	2	2	3	4					1	2	3	4	5	6	7
		現地で営業	本設して営業	仮設店舗で営業	休業中	廃業	その他		本設再開を予定	仮設撤去時廃業	現況で営業継続	わからない						平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成35年度	時期未定
		1	2	3	4	5	6		1	2	3	4					1	2	3	4	5	6	7	
		1	2	3	4	5	6		1	2	3	4					1	2	3	4	5	6	7	
		1	2	3	4	5	6		1	2	3	4					1	2	3	4	5	6	7	
		1	2	3	4	5	6		1	2	3	4					1	2	3	4	5	6	7	
		1	2	3	4	5	6		1	2	3	4					1	2	3	4	5	6	7	
		1	2	3	4	5	6		1	2	3	4					1	2	3	4	5	6	7	
		1	2	3	4	5	6		1	2	3	4					1	2	3	4	5	6	7	
		1	2	3	4	5	6		1	2	3	4					1	2	3	4	5	6	7	
		1	2	3	4	5	6		1	2	3	4					1	2	3	4	5	6	7	
		1	2	3	4	5	6		1	2	3	4					1	2	3	4	5	6	7	
		1	2	3	4	5	6		1	2	3	4					1	2	3	4	5	6	7	
		1	2	3	4	5	6		1	2	3	4					1	2	3	4	5	6	7	
		1	2	3	4	5	6		1	2	3	4					1	2	3	4	5	6	7	
		1	2	3	4	5	6		1	2	3	4					1	2	3	4	5	6	7	
		1	2	3	4	5	6		1	2	3	4					1	2	3	4	5	6	7	
		1	2	3	4	5	6		1	2	3	4					1	2	3	4	5	6	7	
		1	2	3	4	5	6		1	2	3	4					1	2	3	4	5	6	7	
		1	2	3	4	5	6		1	2	3	4					1	2	3	4	5	6	7	
		1	2	3	4	5	6		1	2	3	4					1	2	3	4	5	6	7	
		1	2	3	4	5	6		1	2	3	4					1	2	3	4	5	6	7	
		1	2	3	4	5	6		1	2	3	4					1	2	3	4	5	6	7	
		1	2	3	4	5	6		1	2	3	4					1	2	3	4	5	6	7	
		1	2	3	4	5	6		1	2	3	4					1	2	3	4	5	6	7	
		1	2	3	4	5	6		1	2	3	4					1	2	3	4	5	6	7	
		1	2	3	4	5	6		1	2	3	4					1	2	3	4	5	6	7	
		1	2	3	4	5	6		1	2	3	4					1	2	3	4	5	6	7	
		1	2	3	4	5	6		1	2	3	4					1	2	3	4	5	6	7	
		1	2	3	4	5	6		1	2	3	4					1	2	3	4	5	6	7	
		1	2	3	4	5	6		1	2	3	4					1	2	3	4	5	6	7	
		1	2	3	4	5	6		1	2	3	4					1	2	3	4	5	6	7	
		1	2	3	4	5	6		1	2	3	4					1	2	3	4	5	6	7	
		1	2	3	4	5	6		1	2	3	4					1	2	3	4	5	6	7	
		1	2	3	4	5	6		1	2	3	4					1	2	3	4	5	6	7	
		1	2	3	4	5	6		1	2	3	4					1	2	3	4	5	6	7	
		1	2	3	4	5	6		1	2	3	4					1	2	3	4	5	6	7	
		1	2	3	4	5	6		1	2	3	4					1	2	3	4	5	6	7	
		1	2	3	4	5	6		1	2	3	4					1	2	3	4	5	6	7	
		1	2	3	4	5	6		1	2	3	4					1	2	3	4	5	6	7	
		1	2	3	4	5	6		1	2	3	4					1	2	3	4	5	6	7	
		1	2	3	4	5	6		1	2	3	4					1	2	3	4	5	6	7	
		1	2	3	4	5	6		1	2	3	4					1	2	3	4	5	6	7	
		1	2	3	4	5	6		1	2	3	4					1	2	3	4	5	6	7	
		1	2	3	4	5	6		1	2	3	4					1	2	3	4	5	6	7	
		1	2	3	4	5	6		1	2	3	4					1	2	3	4	5	6	7	
		1	2	3	4	5	6		1	2	3	4					1	2	3	4	5	6	7	
		1	2	3	4	5	6		1	2	3	4					1	2	3	4	5	6	7	
		1	2	3	4	5	6		1	2	3	4					1	2	3	4	5	6	7	
		1	2	3	4	5	6		1	2	3	4					1	2	3	4	5			

東日本大震災における被災状況・営業状況調査依頼先資料（参考）

生活衛生同業組合支部一覧

支部名	すし業	中華料理	社交飲食業	料理業	飲食業	食肉	理容	美容業	公衆浴場業	旅館	クリ
大船渡		1			1			1		1	
盛					1						
高田					1					1	
気仙						1	1				1
釜石		1			1	1	1	1		1	1
大槌											
宮古		1				1	1	1		1	1
山田		1			1		1	1			
岩泉							1	1		1	
田野畑											
久慈					1	1	1	1		1	1
洋野											
野田											
普代											
合計	0	4	0	0	6	4	6	6	0	6	4
県本部	1	0	1	1	0	0	0	0	1	0	0
総計	1	4	1	1	6	4	6	6	1	6	4
支部合計	(40支部)										

東日本大震災における被災生衛業者一覧 久慈市 2019年2月現在

※集計

コード	項目	店舗数
01	現地で営業継続	0
02	本設再開	0
03	仮設	0
04	休業中	1
05	廃業	0
06	その他	0
合 計		1

	組合	営業状況	氏名	店名	住所	電話番号	最終 訪問日	備考
1	旅水	04 休業	大尻 ヒサ	船渡旅館	久慈市長内町44-132-110	0194-52-0564		

東日本大震災における被災生衛業者一覧 岩泉町 2019年2月現在

※集計

コード	項目	店舗数
01	現地で営業継続	0
02	本設再開	0
03	仮設	0
04	休業中	2
05	廃業	0
06	その他	0
合 計		2

	組合	営業状況	氏名	店名	住所	電話番号	最終 訪問日	備考
1	旅水	04 休業	佐々木 潤	佐和屋旅館	岩泉町岩泉字村木61-1	0194-22-2611		
2	旅水	04 休業	畠山 保男	小本温泉	岩泉町小本字下中野33-1	0194-28-2121		

東日本大震災における被災生衛業者一覧 山田町 2019年3月現在

※集計

コード	項目	店舗数
01	現地で営業継続	0
02	本設再開	0
03	仮設	1
04	休業中	0
05	廃業	0
06	その他	0
合 計		1

	組合	営業状況	氏名	店名	住所	電話番号	最終 訪問日	備考
1	飲食	03 仮設	白土 留美子	ライフ	山田町川向16D棟	090-6252-4846		

東日本大震災における被災生衛業者一覧 大槌町

2019年3月現在

※集計

コード	項目	店舗数
01	現地で営業継続	0
02	本設再開	0
03	仮設	6
04	休業中	0
05	廃業	0
06	その他	0
合 計		6

	組合	営業状況	氏名	店名	住所	電話番号	最終 訪問日	備考
1	飲食	03 仮設	黒澤 健	鮎辰	大槌町大槌23 復興きり商店街	013-93-55-6122		
2	理容	03 仮設	菊池 晃総	base	大槌町大槌22-32-4			
3	美容	03 仮設	倉本 浮子	のあ	大槌町大槌23 復興きり商店街D棟1号	090-2362-9746		
4	美容	03 仮設	道又 ミツ	セゾン美容室	大槌町大槌23-9 復興きり商店街	0193-42-7024		
5	美容	03 仮設	平野 多恵子	なみいた美容室	大槌町吉里吉里望洋ヶ丘14-22-3	0193-44-2921		
6	旅館	03 仮設	小川 勝己	小川旅館	大槌町小槌26地割131-1	0193-42-2628		

東日本大震災における被災生衛業者一覧 釜石市

2019年3月現在

※集計

コード	項目	店舗数
01	現地で営業継続	0
02	本設再開	0
03	仮設	1
04	休業中	0
05	廃業	0
06	その他	0
合 計		1

	組合	営業状況	氏名	店名	住所	電話番号	最終 訪問日	備考
1	美容	03 仮設	土橋 チヨ子	チコ美容室	釜石市鶴住居町8-36-1 神ノ沢仮設団地L棟2号	080-1670-4268		

東日本大震災における被災生衛業者一覧 大船渡市

2019年2月現在

※集計

コード	項目	店舗数
01	現地で営業継続	0
02	本設再開	0
03	仮設	1
04	休業中	0
05	廃業	0
06	その他	0
合 計		1

	組合	営業状況		氏名	店名	住所	電話番号	最終訪問日	備考
1	理容	03	仮設	大和田 弘樹	ヘアーサロンオズ	大船渡市盛町字権現堂16-13	090-7076-0262		

東日本大震災における被災生衛業者一覧 陸前高田市

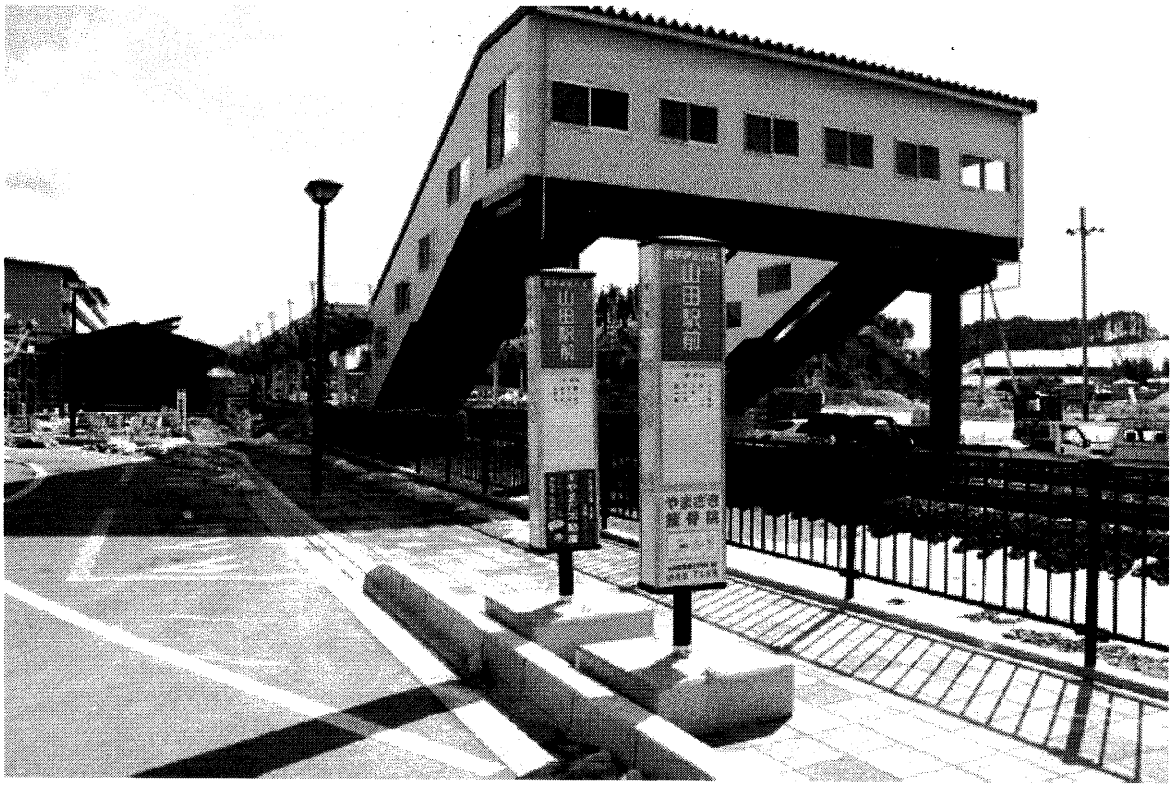
2019年2月現在

※集計

コード	項目	店舗数
01	現地で営業継続	0
02	本設再開	0
03	仮設	9
04	休業中	1
05	廃業	0
06	その他	0
合 計		10

	組合	営業状況	氏名	店名	住所	電話番号	最終 訪問日	備考
1	飲食	03	仮設	熊谷 栄規	車屋酒場	陸前高田市竹駒町滝の里15-3	0192-54-5551	
2	飲食	03	仮設	照井 由紀子	ジャズタイムジョニー	陸前高田市竹駒町中の沢9	0192-54-3934	
3	飲食	03	仮設	斎藤 政英	食彩工房 海浜館	陸前高田市米崎町松峰93-1	0192-53-1567	
4	飲食	03	仮設	蒲生 裕幸	Loop	陸前高田市高田町字大隅93-1	0192-55-6535	
5	飲食	03	仮設	井筒 真紀	家庭料理 井筒屋	陸前高田市竹駒町字仲の沢1-1	0192-55-34-3749	
6	食肉	03	仮設	熊谷 益雄	日益屋 熊谷精肉店	陸前高田市米崎町字高畑94-8	0192-55-2669	
7	理容	03	仮設	柳下 正一	柳下(ヤナタ)理容所	陸前高田市高田町字西和野70-1	0192-54-3241	
8	理容	03	仮設	三嶋 和子	理容みしま	陸前高田市気仙町字町46-1	090-8783-4829	
9	理容	03	仮設	菅原 和基	ヘアサロンKAZ	陸前高田市 中田団地2号棟	0192-55-2096	
10	旅ホ	04	休業中	旅館 海楽	陸前高田市高田町字鳴石5-1 高田第一中学校仮設13-4	0192-55-3311		

山田町



山田駅が建設中（2018.2.20 撮影）



山田駅が完成（2019.2.18 撮影）

山田町



役場前から山田駅前方面の風景（2018.2.20 撮影）

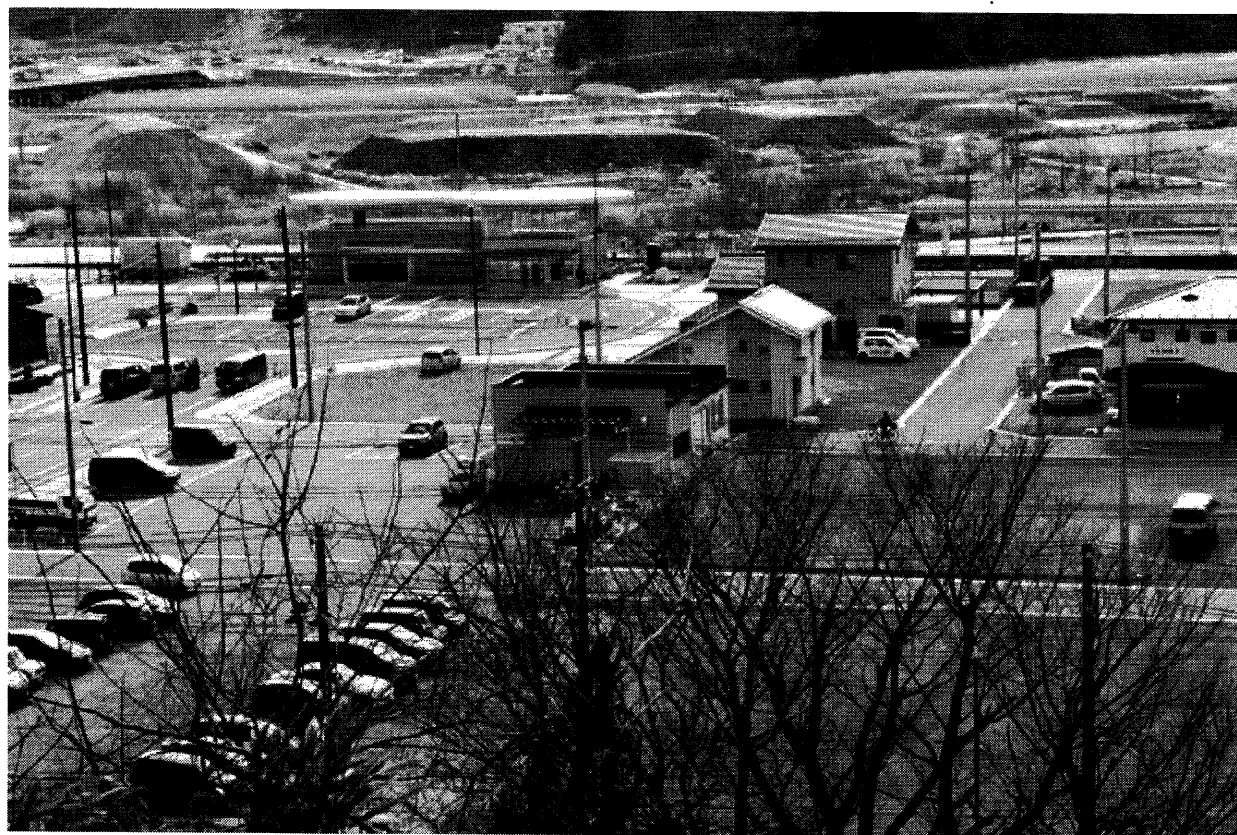


役場前から山田駅前方面の風景（2019.2.18 撮影）

大槌町



大槌駅前の風景（2018.2.20 撮影）



大槌駅前の風景（2019.2.18 撮影）

大槌町



大槌駅前周辺の風景（2018.2.20 撮影）



大槌駅前周辺の風景（2019.2.19 撮影）

釜石市鵜住居地区



鵜住居旧市街地周辺（2018.2.20 撮影）



鵜住居旧市街地周辺（2019.2.19 撮影）

釜石市鵜住居地区



国道 45 号付近に「災害公営住宅」建設（2018.2.20 撮影）



国道 45 号付近の「災害公営住宅」の脇に「復興スタジアム」が見えます。（2019.2.19 撮影）

大船渡市大船渡地区



「おおふなと夢商店街」と隣接する空き地の状況（2018.3.3 撮影）

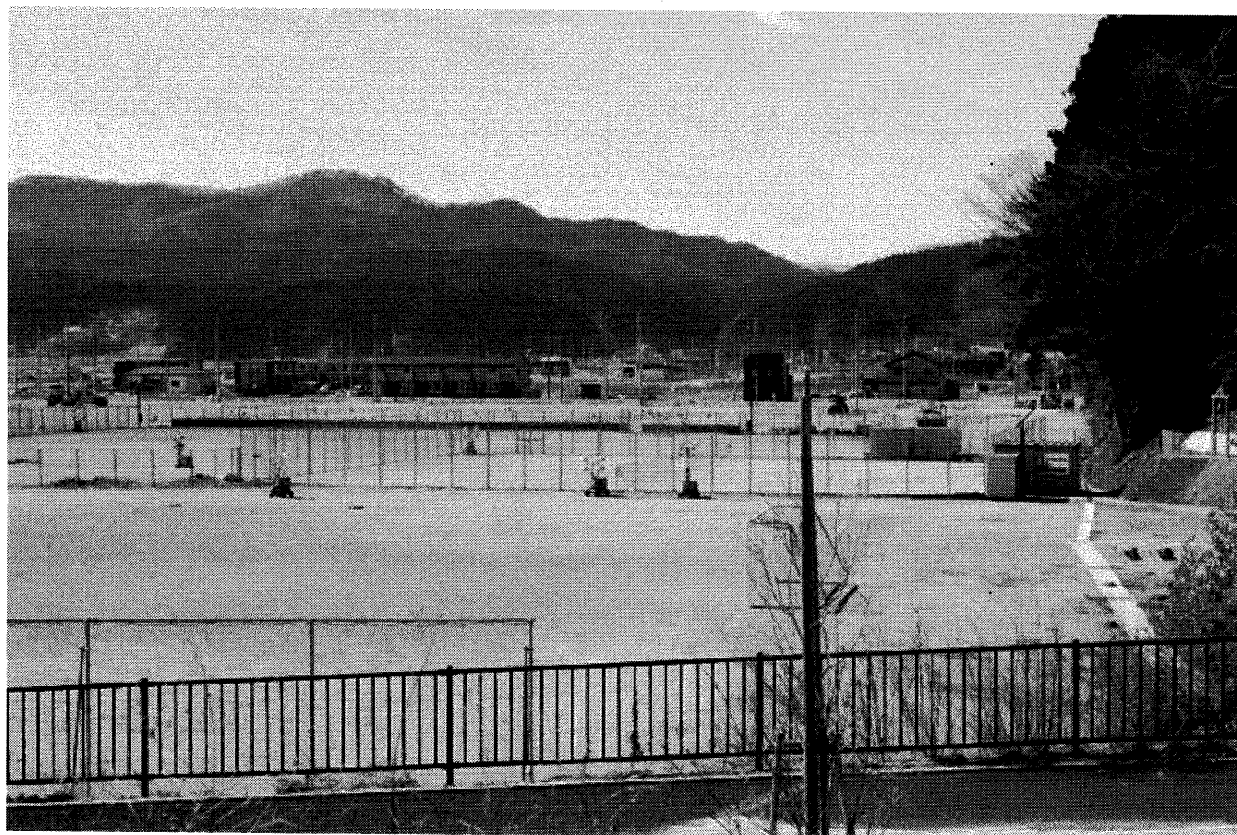


「おおふなと夢商店街」に隣接する空き地に『おおふなと夢横丁』が完成しています。（2018.11.21 撮影）

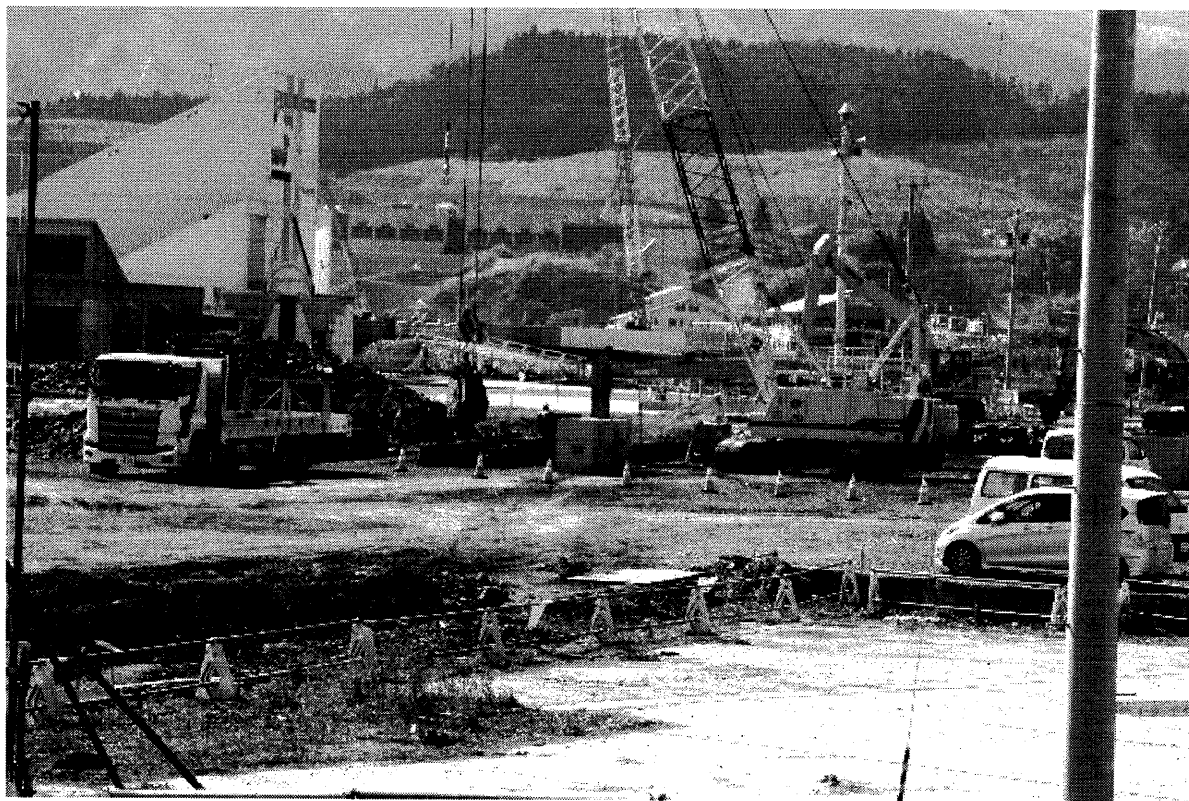
陸前高田市



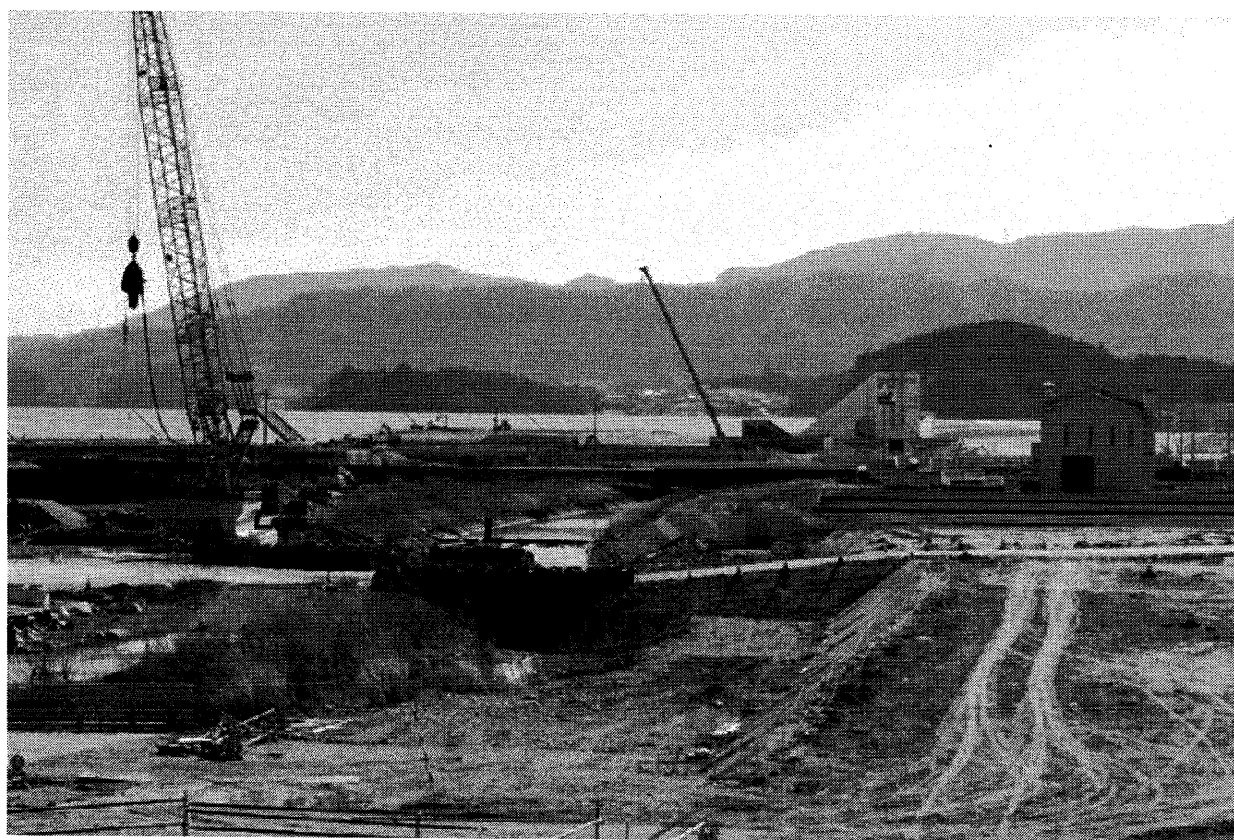
キャピタルホテル 1000 から「アパッセ高田」方面の工事状況（2018.3.3 撮影）



キャピタルホテル 1000 から「アパッセ高田」方面の工事状況（2019.3.9 撮影）



旧 道の駅周辺の工事状況（2018.3.3撮影）



旧 道の駅周辺の工事状況（2019.3.9撮影）

“災害支援協定参加のお店”です！

**災害支援協定
参加のお店です！**



**災害情報・水・トイレ
提供します**

岩手県生活衛生営業指導センター
岩手県生活衛生同業組合中央会
岩手県生活衛生同業組合

岩手県生活衛生同業組合中央会及び地区生活衛生同業組合連絡協議会は、平成 24 年度に沿岸部全 12 市町村、盛岡市及び岩手県知事。また、平成 29 年 7 月には矢巾町との間で、「大規模災害発生時における支援協定」を締結しました。

岩手県内において「大規模な災害が発生」した時に、住民に最も身近な生活衛生営業者が、社会貢献活動の一環と地域防災力向上のために取り組んでいるものです。

協定の内容は、宿泊施設を避難場所として提供することや、食材の提供及び炊き出し、避難所のシーツ等のクリーニング、被災者への入浴サービス、映画館等を帰宅困難者に対して休憩場所として提供、帰宅困難者に対する水、トイレ提供、災害情報の提供などです。

岩手県生活衛生営業指導センターでは、東日本大震災後に各生活衛生同業組合や行政機関と連携し、災害救助法に基づく避難所の給食支援(60 万食提供)事業や、厚生労働省や全

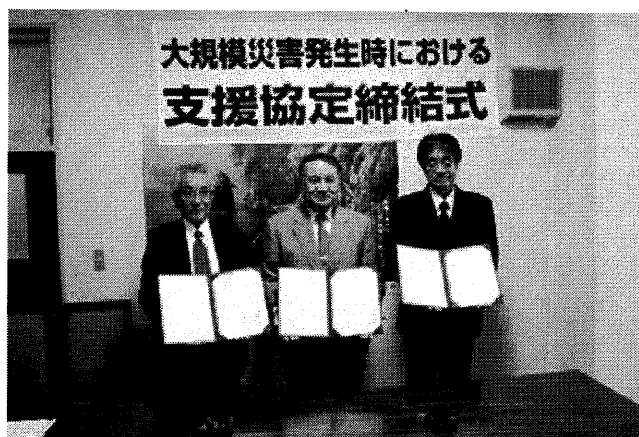
国指導センターの支援のもと、各地で福興応援団「暮らし再建・なりわい再生」事業を立ち上げて、被災地支援・被災営業者支援等を実施しました。

被災地支援活動には、生活衛生同業組合員だけではなく、全ての生活衛生関係営業者及びそれ以外の事業者の方々との連携も必要になります。

これまでに、岩手県総合防災訓練に5回参加しており、日常訓練の段階から行政機関、関係団体や地域住民と連携し、地域防災力向上に努めていくこととしています。



2012年9月5日(久慈市、洋野町、野田村、普代村)



2012年9月26日田野畑村



2012年9月26日岩泉町



2012年10月17日宮古市



2012年10月25日山田町



2012年12月27日釜石市



2013年1月22日大槌町



2013年1月11日大船渡市



2013年1月16日陸前高田市



2013年2月6日盛岡市



2013年3月25日岩手県知事



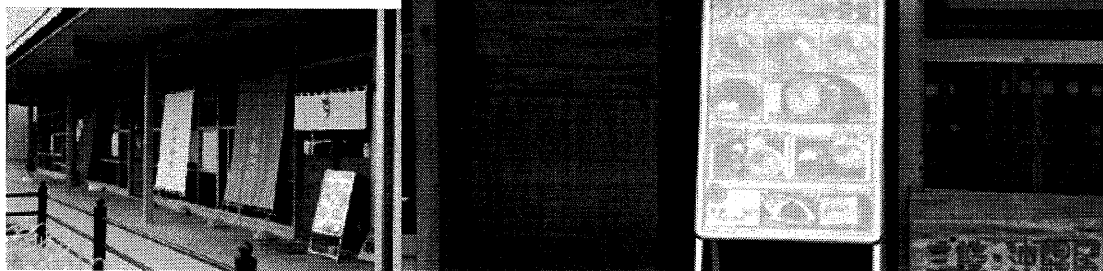
2017年7月26日矢巾町

**災害支援協定
参加のお店です！**



**災害情報・水・トイレ
提供します**

岩手県生活衛生営業指導センター
岩手県生活衛生同業組合中央会
岩手県生活衛生同業組合



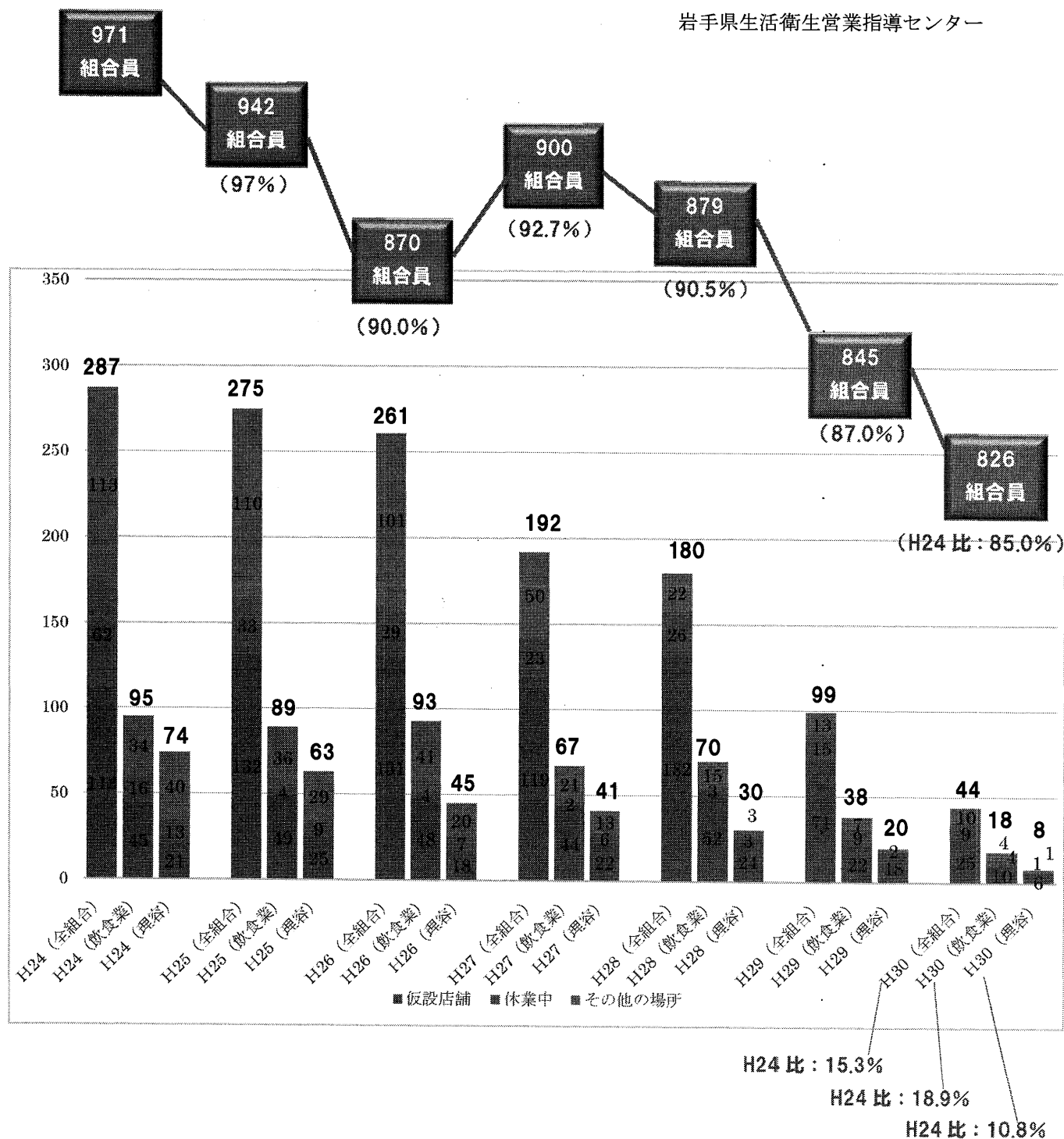
山田駅前 共同店舗で、ステッカー掲示のお店を見つけました！

東日本大震災営業状況調査（抜粋資料）

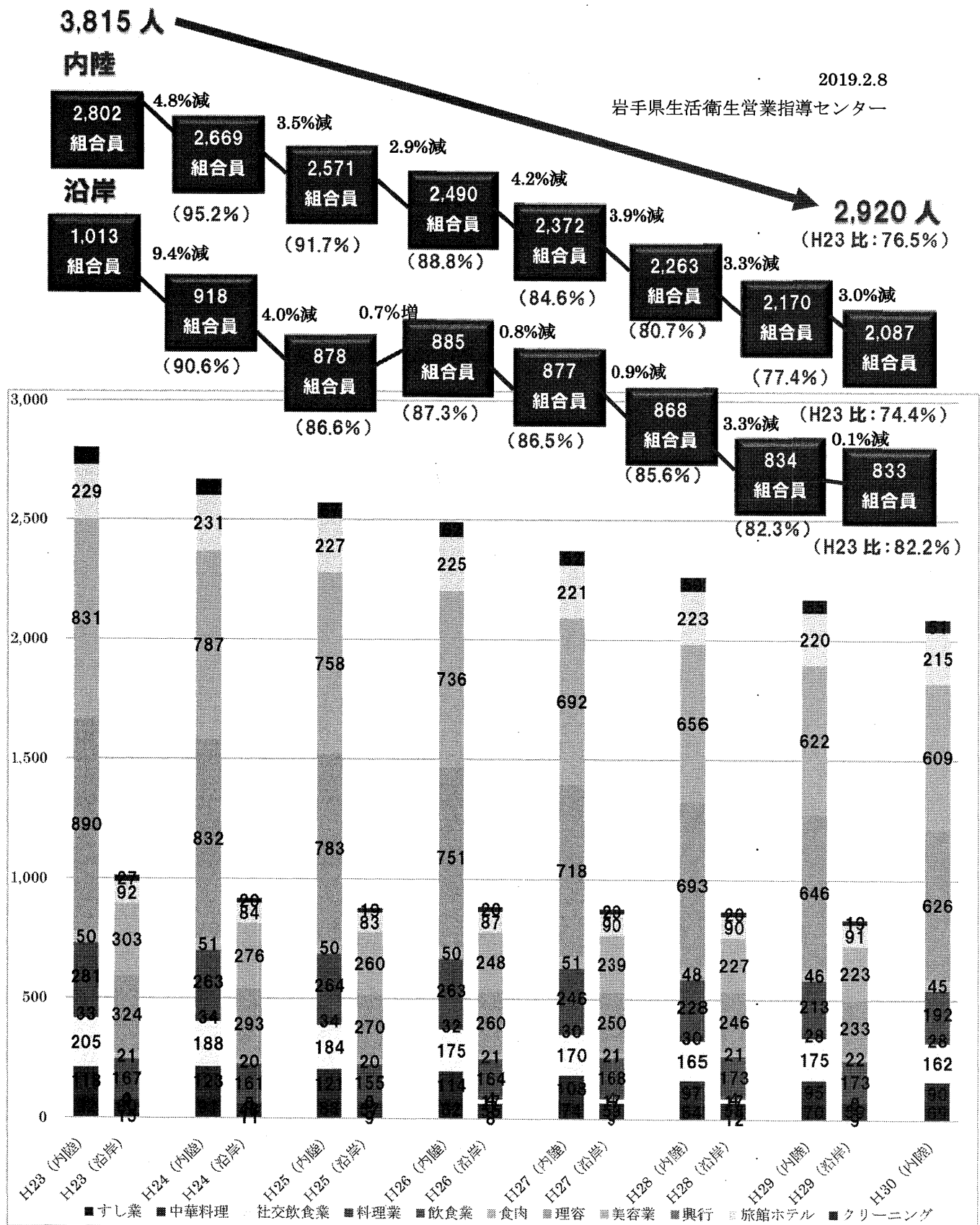
仮設店舗で営業・休業中・その他営業店舗の推移

2019.2.8

岩手県生活衛生営業指導センター



生衛業組合員数の推移（内陸と沿岸、H23 比較）



地域経済「回復」55%に減

県の沿岸住民復興実感調査

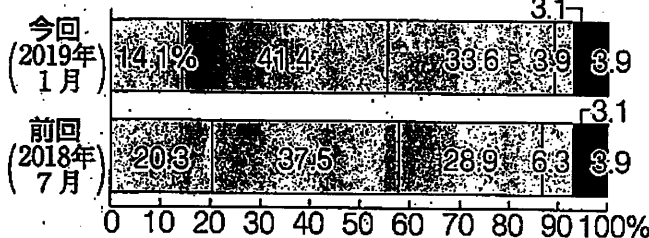
需要減、漁業不振響く

県は14日、沿岸住民から継続的に復興の実感を聞く
いわて復興ウォッチャー調査（1月実施）を公表した。
地域経済について「回復した」「やや回復した」との
回答は計55・5%で、昨年7月の前回調査と比べて2
・3割低下。復興需要の減退に加え、基幹産業の漁業
の不振などが影響した。復興工事が進展する一方、整
備後の地域経済への不安が浮き彫りとなった。

自由記載は「商業施設が
仮設から本設に移って利
便性が良くなった」「新た
な中心市街地にぎわい

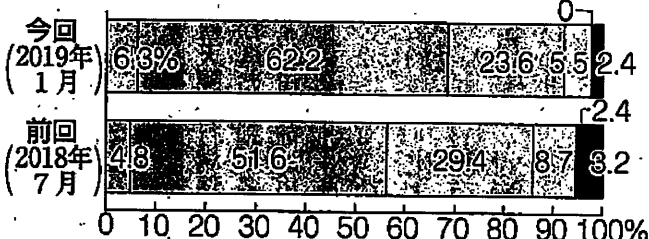
地域経済の回復度

■回復した ■やや回復した ■どちらともいえない
■あまり回復していない ■回復していない ■分からない



災害に強い安全なまちづくりの達成度

■達成した ■やや達成した ■どちらともいえない
■あまり達成していない ■達成していない ■分からない



が出ている」などの声があ
る一方、「商業地は空き地
が目立ち、震災前の水準に
戻らない」「工事関係者が
減少し、県外からの人の出
入りが減った」などの指摘
も。

特に漁業は「施設は復旧
しても不漁で活気がない」
「貝毒による出荷規制が大
きな打撃となっている」な
どと危機感が目立った。

地域経済の回復度は、「回
復」と「やや回復」を合わ
せた回答が2012年2月
の第1回調査の19・3%か
ら上昇傾向が続き、17年7
月の62・8%にピークとな
った。復興需要が終息に向
かう中、県は19年度の一般
会計当初予算案で公共事業

費などを増額し、地域経済
の下支えを図る。

県復興局復興推進課の多
賀聡推進協働担当課長は

「建設需要などの減退に加
え、漁獲量減少が加工業な
どに影響し、地域経済の不
透明感につながっている。
後継者不足や企業の人手不
足などの不安もあり、対策
を進めたい」と話す。

生活回復の実感について
は、災害公営住宅などの整
備に伴い「回復」「やや回
復」が計85・8%（同4・
5割増）と上昇。災害に強
い安全なまちづくりの達成
度はハード整備の進展に伴
い「達成」「やや達成」が
計68・5%（同12・1割増）
と過去最高となった。

調査は年2回実施。今回
は沿岸12市町村の153人
を対象とし、回収率は83・
7%だった。

2019年（平成31年）3月11日（月）岩手日報

人口・犠牲者数		仮設住宅入居者数		人口・犠牲者数		仮設住宅入居者数	
洋野町 久慈市 野田村 普代村 田野畑村 岩泉町	・人口 1万5579人 (2196人減) ・死者 0人 ・不明者 0人 ・関連死 0人	2011年 10月 14人 19年 1月 0		宮古市 山田町 大槌町 金石市 大船渡市 陸前高田市	・人口 5万3363人 (5866人減) ・死者 420人 ・不明者 94人 ・関連死 55人	2011年 10月 5613人 19年 1月 26	
	・人口 3万3994人 (2795人減) ・死者 2人 ・不明者 2人 ・関連死 1人	2011年 10月 204人 19年 1月 0			・人口 1万4956人 (3550人減) ・死者 604人 ・不明者 145人 ・関連死 83人	2011年 10月 5701人 19年 1月 675	
	・人口 3939人 (667人減) ・死者 38人 ・不明者 0人 ・関連死 1人	2011年 10月 777人 19年 1月 0			・人口 1万1227人 (3995人減) ・死者 803人 ・不明者 419人 ・関連死 52人	2011年 10月 5167人 19年 1月 402	
	・人口 2649人 (416人減) ・死者 0人 ・不明者 1人 ・関連死 0人	2011年 10月 0人 19年 1月 0			・人口 3万4748人 (4651人減) ・死者 888人 ・不明者 152人 ・関連死 106人	2011年 10月 8540人 19年 1月 620	
	・人口 3238人 (600人減) ・死者 14人 ・不明者 15人 ・関連死 3人	2011年 10月 488人 19年 1月 0			・人口 3万6034人 (4545人減) ・死者 340人 ・不明者 79人 ・関連死 82人	2011年 10月 6482人 19年 1月 57	
	・人口 9128人 (1580人減) ・死者 7人 ・不明者 0人 ・関連死 3人	2011年 10月 345人 19年 1月 0			・人口 1万8726人 (4495人減) ・死者 1557人 ・不明者 202人 ・関連死 47人	2011年 10月 6214人 19年 1月 614	
沿岸計 全県	・人口 23万7581人 (3万5356人減) ・死者 4673人 ・不明者 1109人 ・関連死 433人	2011年 10月 3万9545人 19年 1月 2394	仮設住宅入居者数				
	・人口 123万6818人 (8万9825人減) ・死者 4673人 ・不明者 1114人 ・関連死 467人	2011年 10月 4万3738人 19年 1月 2827	仮設住宅入居者数				

※岩手県まとめ。人口は2019年2月1日現在。かつこ内の人口増減は11年3月1日との比較。死者・不明者・関連死は19年1月末現在。仮設住宅入居者数（19年1月末現在）は民間住宅などの「みなし仮設住宅」も含む。2011年10月は全県の入居者数ピーク時点。ピーク時に250人は県営住宅に入居していたが、県が詳細な入居先を把握していないため市町村別、沿岸の集計に加えていない

津波復興なお途上

いわて被災地 この1年

1万8千人超の死者・行方不明者が出た東日本大震災は11日で発生から8年となった。岩手県は2800人余がいまだ仮設暮らしを余儀なくされ、被災者の心のケアが続く。インフラ整備は進むが、空き地が目立ち、津波被災地は復興途上にある。

死者数は1月末現在で4673人、震災関連死467人、行方不明者1114人。仮設住宅入居者は2827人で、ピーク時の4万3738人に比べると大幅に減ったが、住宅再建を果たせずにいる人はなお多い。

まちづくりの土台となる土地整備は計画する7479区画のうち6668区画が完成。沿岸部の災害公営住宅は予定5525戸のうち5490戸が完成した。内陸部（6市）の避難者のための災害公営住宅は計画329戸中、93戸の完成にとどまる。

市町村立の小中学校は、昨年12月に陸前高田市の気仙小が再建され、被災した沿岸部の67校全てが復旧した。沿岸部の医療施設（病院、診療所、歯科診療所）は127施設が被災し、24施設は廃止。順次復旧が進み、現在は4施設が仮設診療所で本設再開を目指している。

民間投資や公共投資を合わせた岩手県内の建設投資額（国土交通省調べ）は11年度の4723億円から復興事業で大幅に増加したが、15年度の1兆3466億円をピークに減り、17年度は1兆2047億円となった。復興需要がピークアウトし、人口減少が加速する中、本格復興をけん引するはずの産業は今、深刻化する人手不足に直面している。

防潮堤や水門などの海岸保全施設は134カ所を計画し75カ所（56%）が復旧・整備完了した（昨年12月末現在）。住環境、インフラの整備が進む一方、産業振興が大きな課題だ。漁業は不漁続きで苦戦を強いられ、産地魚市場水揚げ量（昨年4～12月）は8万4688トンで、震災前3年（2008～10年度）同期平均の56・7%にとどまる。販路回復はまだまだ途上だ。



東日本大震災の津波で被災した岩手県大槌町の旧役場庁舎は3月に完全解体された。震災津波の惨禍を物語る遺構の一つが姿を消した。1月24日（小型無人機で撮影）

資料 1

平成 30 年度 生活衛生関係営業者 経営等情報交換会『実施結果』

～収益力向上セミナー～

2018.10.26 現在

1 開催日・場所・出席者等

	月日	開催地	会場	備考
1	8 月 20 日 (月)	花巻市	ホテルグランシェール 花巻	33 名出席 (個別相談 0) (うち一般 0 名)
2	8 月 27 日 (月)	大船渡市	大船渡プラザホテル	35 名出席 (個別相談 0) (うち一般 1 名)
3	9 月 3 日 (月)	山田町	中央コミュニティセン ター	27 名出席 (個別相談 1) (うち一般 0 名)
4	9 月 10 日 (月)	釜石市	釜石ベイシティホテル	24 名出席 (個別相談 3) (うち一般 0 名)
5	10 月 1 日 (月)	一関市	ホテルサンルート一関	27 名出席 (個別相談 1) (うち一般 1 名)
6	10 月 15 日 (月)	久慈市	久慈グランドホテル	21 名出席 (個別相談 0) (うち一般 0 名)
	合 計	167 名出席 (生衛業 110 名、機関 57 名) 生衛業内訳：中華 2、社交 8、料理 2、<u>飲食 23</u>、<u>理容 38</u>、<u>美容 25</u>、 旅館 9、クリ 1、一般 2 (個別相談 5)		

2 開催内容 (各地区共通：120 分コース)

時 間	内 容	説明者
(10 分)	情報提供：生活衛生業を巡る最近の動き	岩手県生活衛生営業指導センター
(10 分)	情報提供：(ホットな情報など)	当該商工会議所、商工会
(50 分)	講演： 生衛業の生産性と収益力向上を 目指した経営の在り方	講師： 工藤健人中小企業診断士事務所 代表 中小企業診断士 工藤健人
(30 分)	情報提供： 働き方改革、軽減税率	働き方改革推進センター、当該税務署
(20 分)	情報提供：『公庫資金』の活用方法など	日本政策金融公庫各支店 (盛岡支店、一関支店、八戸支店)
(適宜)	個別相談 (希望者のみ) ※1 事業者 30 分程度	(相談内容により、個別に職員が対応)

平成 30 年度復興支援連携事業 収益力向上等実態調査「アンケート実施結果(抜粋)」

(1) 調査の対象：沿岸地区組合員（各地区 10 店舗×4 地区）

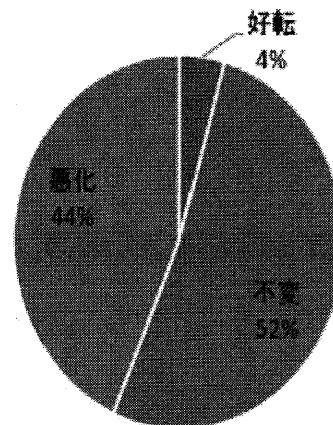
(2) 調査結果

	対象地区	調査書送付	回答件数	回答率	備考
1	久慈地区	10 件	6 件	60%	
2	宮古地区	10 件	6 件	60%	
3	釜石地区	10 件	6 件	60%	
4	気仙地区	10 件	5 件	50%	
	計	40 件	23 件	57.5%	

問 2.あなたのお店の業況等をお伺いします

(1) 当期の業況はどうですか？

項目	人数
好転(4%)	1
不変(52%)	12
悪化(44%)	10
合計	23



問 3. あなたのお店の課題等をお伺いします

(1) 経営上の課題は何ですか？（該当するもの全てに○をしてください）

項目	人数
顧客数の減少	16
単価の低下	3
仕入価格・人件費の上昇を価格に転嫁困難	6
店舗施設の老朽化	6
従業員の確保困難	7
後継者難	6
事業資金借入難	1
その他	0
特に問題なし	1
合計	46

